

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com

NO.72号

2013年12月15日

日本共産党

新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

12月議会一般質問から

医療が必要な資格証世帯は短期証に切り替えを…飯塚孝子議員

飯塚議員の質問

問 医療費が全額自己負担となる資格証世帯の受診率は、平成24年度の資格証受診者の疾病分析では、滞納世帯の7分の1と極めて低く、受診抑制の重要な要因である。医療が必要な人には、短期証への切り替えを行うべきではないか。

答 資格証世帯については、

今後の日程

15日(日)	国保学習会(13時半県生涯学習センター)
16日(月)	各常任委員会(請願・陳情の審査)
17日(火)	各常任委員会(採決)
18日(水)	各特別委員会
20日(金)	本会議(採決)

問 新たな新潟市農業構想を策定するにあたり、各区の特色を生かした計画とするため、区毎の策定委員会も必要ではないか。また、女性委員の登用も増やすべき。

答 新年度予算の検討の中で、どういう体制にするか、各区の特色を生かすことについては政策上必要なことなので、そういう観点で議論をすすめたい。女性

風間議員の質問

問 新たな新潟市農業構想を策定するにあたり、各区の特色を生かした計画とするため、区毎の策定委員会も必要ではないか。また、女性委員の登用も増やすべき。

答 新年度予算の検討の中で、どういう体制にするか、各区の特色を生かすことについては政策上必要なことなので、そういう観点で議論をすすめたい。女性

新たな農業構想に区の特色を生かせ…風間ルミ子議員

委員の登用については全市的な方向があるので前回より増やしていきたい。

問 北区郷土博物館に木崎村小作争議資料を常設展示することになった。この機会をとらえ、貴重な郷土の歴史を伝える木崎村小作争議資料に、市内のすべての子供達にふれてもらう取り組みをすべきではないか。また、木崎村小作争議記念碑の維持管理に市の支援は考えられないか。

腎臓病は、脳や心臓疾患への関与も指摘されている。初期の慢性腎臓病を早期発見する判定指標に、血清クレアチニン値から算出されるGFR(糸球体ろ過量)を加え、腎不全の進行

か。

答 北区郷土資料館の常設展示に木崎村小作争議のコーナーを設置し、児童生徒向けの展示ガイドブックを作成し、出前教室などで木崎村小作争議に関わった先人の思い願いを伝えて行くよう努めていく。

木崎村小作争議記念碑は「新潟市市民文化遺産制度」などの取り組みを通じて、認知度向上を図るとともに、保存会と協力して後世に伝えていきたい。

を抑制するべきではないか。

答 慢性腎臓病の重症度の把握には、GFRは有効な指標であり、導入にあたっては、医師会などと協議しながら進める必要がある。

